

VW 9908

取付説明書

装着前に必ずお読み下さい。

1. 運転席エアバック（以下：SRS）を取外すと助手席、サイドSRSの衝突時作動は推測出来ません。
2. 純正ステアリングに各種リモコンが装備されている車種は、その機能が使用出来なくなります。本体側で操作して下さい。
3. 稀に車両の電気的特性により、SRS警告灯が消灯できない場合があります。ご了承下さい。この場合は、CPUにエラーコードが記録され、ディーラーの診断器でリセットして頂く必要があります。
4. ハンドルを取外す順序を誤ると、スパイラルケーブルを破損する可能性があります。また、純正部品の取外しに関しては自動車メーカーの整備解説書に従っていただくのが普通ですので本書はあくまでも参考としてください。
5. 本製品は純正ステアリングから、社外のスポーツハンドルに交換するためのアダプターです。
6. 本製品は純正ステアリング内のハーネスを流用する必要があります。
7. 本製品のホーン配線には絶縁テープを使います。必ず用意してから取付作業を始めてください。

装着手順

1. 作業開始準備

バッテリーの+端子を外して下さい。（作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。）

2. 純正コラムカバーの取外し

ステアリングコラムのコラムカバーを外して下さい。

※ コラムカバーの取外しは整備解説書を参照してください。

3. SRS エアバッグモジュールの取外し

下図を参照に赤い矢印の部分のロッドスプリングを内側に動かして下さい。両側に行いますとSRS エアバックモジュールが外れます。



4. コネクターの取外し

スパイラルケーブルから黄色いコネクタを外してください。

5. 純正ステアリングの取外し

センターボルトを緩めてステアリングホイールを外してください。

注：ステアリングホイールが外れた後は絶対にスパイラルケーブルを回転させないで下さい。スパイラルケーブルは左右の回転数が決まっております、間違えて取付けますとスパイラルケーブルの中の配線を切断してしまいます。

6. ハーネスの用意

SRS エアバックモジュールからホーン/SRS ハーネスを外します。SRS エアバックに接続されているコネクタは黄色の裏蓋を浮かせないと抜けません。各部の配線を押さえる爪を緩めて配線単体にしてください。



7. ハーネスの再接続

スパイラルケーブルに6. で確保したハーネスを差し込んでください。

8. ボスの取付

TOPを合わせてステアリングシャフトにボスを差し込んでください。ボスの12時方向にある開口部からハーネスをボスの中に引き入れます。

9. センターボルトの締め付け

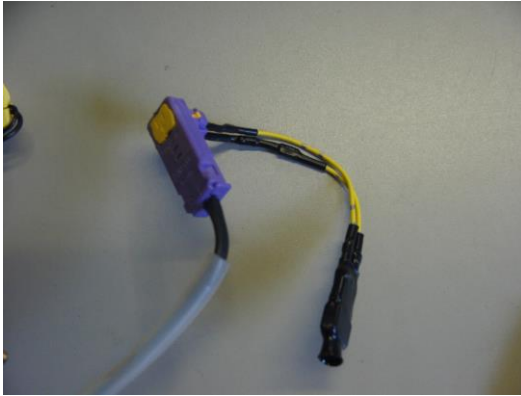
センターボルトを締付けてください。必要と思われる場合には、スポーツステアリングを仮止めし、30N・mのトルクでゆっくりと確実に締付けてください。

注：指定トルクを守らないで過大なトルクで締付けますとボスやステアリングシャフトを破損する可能性があります。メーター表示式トルクレンチで確実に行ってください。（リミット式トルクレンチは締め付けトルクが過大にならないよう細心の注意を払ってください）

10. エアバックコネクタにダミーハーネスを接続します。

付属のヒューズ付きダミーハーネスを車両側のエアバックカプラーに接続してください。

極性はありませんので接続する位置はどちらでも構いません。端子の先を軽く曲げると接触不良等が防げます。接続後はテーピングで抜けを防止してください。



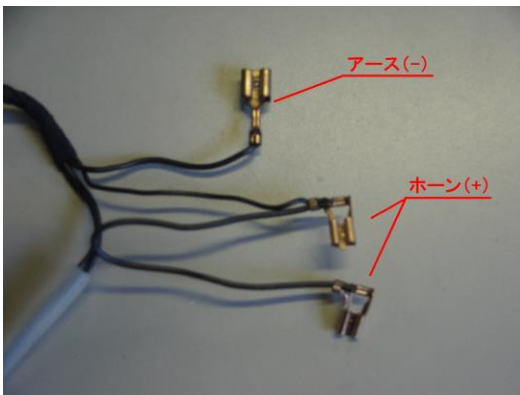
(写真はテープで固定していません)

注：接続後は絶縁テープでしっかりと固定・絶縁を行ってください。接触不良が起きると SRS 警告灯が点灯する可能性があり、ショート等が起きますと助手席の SRS エアバックが誤作動する可能性があり、大変危険です。

注：SRS 警告灯の消灯を 100%保証しているわけではありません。車両の電气的な特性の個体差で、消灯できないもしくは時間が経ってから点灯してしまう場合が稀にあります。ご了承ください。

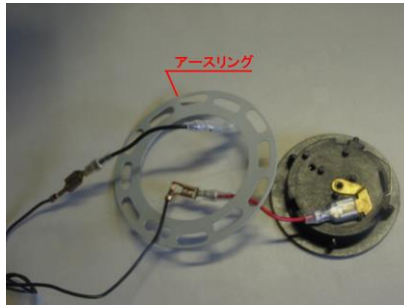
11. ホーンハーネスの用意

L字型の2本のメス端子がホーン (+) 線、ストレートでやや大きいメス端子がアース (-) です。ご使用になるホーンボタンの形態に合わせて準備をします。



● ホーンボタンの端子が1極の場合

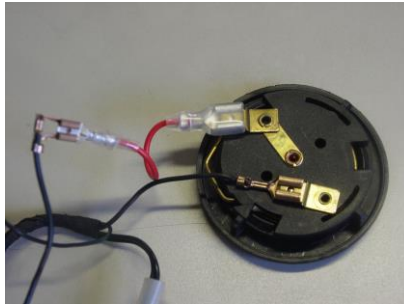
アース端子 (-) に変換ハーネス (黒線)、付属アースリングへ接続します。(+) 端子は変換ハーネス(赤線) ホーンボタンの (+) 端子に接続します。金属部分は絶縁テープで絶縁してください。(純正ホーン (+) 線の1本は使用しません)



(写真は絶縁していません)

● ホーンボタンの端子が2極の場合

アース端子は絶縁テープで絶縁し、ホーンボタンの (-) 端子へ直接繋がします。(+) 端子は変換ハーネス (赤線) ホーンボタンの (+) 端子に接続します。金属部分は絶縁テープで絶縁してください。



(写真は絶縁していません)

1 2. ステアリングホイールの取付

ご使用になるステアリングホイールの取扱説明書に従ってステアリングホイール及びホーンボタンをボスに固定してください。このとき、モモタイプステアリングには付属ホーンリングを必要とし、ナルディタイプステアリングには付属ホーンリングは必要ありません。ホーンリングをご使用になるときは1 1. のアースリングよりボス側に装着して下さい。

1 3. コラムカバーの再取付

純正コラムカバーを元に戻してください。このとき、ボスカバーが干渉すると思われるときには一度ステアリングホイールを外して、ボスカバーをボスから外してカッターナイフ

等で適切な長さに切ってください。

注：怪我にご注意ください。

14. 作業終了

バッテリー端子を接続して、ウインカー、ホーンのテストをしてエンジンをかけてSRSモニターランプが消灯するのを確認して下さい。

(ホーン/ウインカー/直進状態等に異常があった場合はバッテリー端子を外してから修正作業をして下さい)

15. 取外したSRSモジュールは純正ステアリングに取付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。(保管方法はディーラーにご相談下さい)

トラブルシューティング

Q：SRSモニターランプが点灯する（消灯しない）

A：作業中にイグニッションキーを入れた、ジャンパー線を装着していない、ジャンパー線の接続不良、

対策：ジャンパー線の接続を確認後、ディーラーの診断コンピューターで消灯して下さい。

(ジャンパー線が接続されていなかったり、接続不良だと消えません)

Q：ステアリングのTOPが出ない

A：シャフトスプラインの1山以内のズレはタイロッドで調整します。

対策：ディーラー又は整備工場で調整して下さい。

Q：ステアリングを切ると異音がする

A：ボス内のSRSコネクタが干渉している

対策：動いているカプラー等をテープ又はタイラップ等で固定して下さい。